

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公表番号】特表 2011-527732 (P2011-527732A)

【公表日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2011-044

【出願番号】特願 2011-517618 (P2011-517618)

【国際特許分類】

D 2 1 C 5/02 (2006.01)

【F I】

D 2 1 C 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 22 日 (2012.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- a. 活性化ケイ酸マグネシウム；
- b. 任意に前記活性化ケイ酸マグネシウムのための懸濁化剤；
- c. 水；及び
- d. 任意に乳化剤を含み、
- e. 任意に苛性ソーダを除外すること；及び
- f. 任意に過酸化水素を除外することを特徴とする組成物。

【請求項 2】

- a. 活性化ケイ酸マグネシウム；
- b. 水；
- c. キサンタンガム；
- d. トールオイル脂肪酸；及び
- e. ラウリル硫酸ナトリウムを含むことを特徴とする組成物。

【請求項 3】

セルロース誘導体を含む物質からインクを除去する方法であって：

(a) 前記セルロース誘導体を含む物質に：(1) 活性化ケイ酸マグネシウム、(2) 水、(3) 任意に前記活性化ケイ酸マグネシウムのための懸濁化剤、及び(4) 任意に乳化剤を含む組成物を添加する工程を含み、

(b) 任意に、前記セルロース誘導体を含む物質に苛性ソーダを添加する工程を除外すること；及び

(c) 任意に、前記セルロース誘導体を含む物質に過酸化水素を添加する工程を除外することを特徴とする方法。

【請求項 4】

セルロース誘導体を含む物質からインクを除去する方法であって：

(a) 前記セルロース誘導体を含む物質に：(1) 活性化ケイ酸マグネシウム、(2) 水、(3) キサンタンガム、(4) トールオイル脂肪酸、及び(5) ラウリル硫酸ナトリウムを含む組成物を添加する工程を含み、

(b) 任意に、前記セルロース誘導体を含む物質に苛性ソーダを添加する工程を除外すること；及び

(c) 任意に、前記セルロース誘導体を含む物質に過酸化水素を添加する工程を除外することを特徴とする方法。

【請求項 5】

- a. ケイ酸マグネシウム；
- b. 前記ケイ酸マグネシウムのための懸濁化剤；
- c. 水；及び
- d. 任意に乳化剤を含み、
- e. 任意に苛性ソーダを除外すること；及び
- f. 任意に過酸化水素を除外することを特徴とする組成物。

【請求項 6】

セルロース誘導体を含む物質からインクを除去する方法であって：

(a) 前記セルロース誘導体を含む物質に：(1) ケイ酸マグネシウム、(2) 前記ケイ酸マグネシウムのための懸濁化剤、(3) 水、及び(4) 任意に乳化剤を含む組成物を添加する工程を含み、

(b) 任意に、前記セルロース誘導体を含む物質に苛性ソーダを添加する工程を除外すること；及び

(c) 任意に、前記セルロース誘導体を含む物質に過酸化水素を添加する工程を除外することを特徴とする方法。